



協会ニュース

第32号

平成23年3月31日発行

編集発行人／宮川 俊介 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町15-17 (日本基礎技術株式会社内) TEL (03) 3476-5721 FAX (03) 5489-7821

ホームページ変更のお知らせ

当協会のWebサイト (<http://www7.ocn.ne.jp/~rta/>) のURLは、平成23年4月1日より「 <http://roctech.jp/> 」に変更させていただきます。ブックマークなどに登録されている皆さまは、設定のご変更をお願いいたします。

年頭にあたって

岩盤削孔技術協会会長

見波 潔



あけましておめでとうございます。平成23年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、皆様には平素より当協会の活動に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

大口径岩盤削孔工法は各種建設プロジェクトを支える工法の一つとして、永年に渡って蓄積されてきました経験、ノウハウ、技術力を活かして社会に貢献して参りました。昨年は厳しい社会経済情勢の中ではありますが、会員各社が確実に実績を上げられましたことに敬意を表します。

当協会は大口径岩盤削孔工法の普及および技術の向上を図ることを目的として、高い技術力を有する施工専門業者ならびに機械製作会社を会員として平成元年に設立されました。会員各社のご努力と協会の活動が相まって、本工法が今日までに健全に発展してきたものと自負しております。

建設投資が長期低落傾向にある中ではありますが、厳選されたプロジェクトにおいて大口径岩盤削孔技術が必要となる場面は必ず存在します。本技術に出番が与えられた時には高い技術力と信頼性によって、発注者ひいては国民の皆様の期待に応えようではありませんか。

苦しい時こそ皆様の期待に応える仕事をきちんとやり遂げ、さらには将来に向けて技術の研鑽に努め、厳しい状況を何としても乗り切りたいものです。

協会では、発注者、設計者、施工者からの様々な技術的問い合わせや要請に対応すべく、会員各位のご協力を得て日々工法の普及に努めており、平成22年度の事業として「リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料(平成22年度版)」および「会員施工会社施工実績調査表(平成21年4月～平成22年3月)」を発行いたしました。

平成23年度は、昨年度に引き続いて(社)日本建設機械化協会主催の「橋梁架設・大口径岩盤削孔の施工技術と積算及び建設機械等損料」講習会に講師を派遣し、大口径岩盤削孔の施工技術と積算について広く普及に努めてまいります。また、技術相談の受付や協会ニュースの発行など外部への情報発信や会員相互の情報交換をインターネットを活用してより効果的に行ってまいります。

技術を大切にするとともに、本技術に対する関係各位のご理解をなお一層深めていただきますよう努力したいと考えております。本年が皆様にとって実り多い年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

委員会活動報告

1. 運営委員会 2回
(平成22年5月20日～平成22年10月7日)
 - ・平成21年4月から平成22年3月までの4工法施工実績表の作成、発行
 - ・協会ニュースの審議
 - ・ホームページの審議
 - ・総会の開催、運営
 - ・予算の審議
2. 協会ニュース編集分科会 2回
(平成22年5月20日～平成22年10月7日)
3. リーダ式ケーシング回転掘削工法分科会 2回
(平成22年5月20日～平成22年10月7日)
4. 大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料改訂分科会 2回
(平成22年5月20日～平成22年10月7日)
5. ホームページ分科会 2回
(平成22年5月20日～平成22年10月7日)

成果品

1. 平成21年4月から平成22年3月までの4工法施工実績調査表の発行(平成22年6月10日)
2. リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料の発行(平成22年8月25日)

広報活動

1. 協会ニュース 1回：第31号(平成22年8月31日)
2. ホームページ改訂(平成22年9月15日)

対外活動

1. (社)日本建設機械化協会技術委員会参加 4回
(平成22年4月14日～平成22年8月4日)
2. (社)日本建設機械化協会主催「大口径岩盤削孔の施工技術と積算」講習会
平成22年6月14日から平成22年7月7日まで、仙台、東京、大阪、名古屋、広島、福岡の6ヶ所で、当協会派遣講師により、大口径岩盤削孔施工技術の普及を行った。